

第 9 回

熊本県議会

決算特別委員会会議記録

平成30年11月30日

(平成29年度決算)

(決算の認否・報告案)

開 会 中

場所 全 員 協 議 会 室

第 9 回 熊本県議会 決算特別委員会会議記録

平成30年11月30日（金曜日）

午前10時41分開議

午前10時52分閉会

本日の会議に付した事件

- 1 平成29年度一般会計、各特別会計、病院事業会計及び企業局3事業会計の決算認定等について

議案第42号 平成29年度熊本県一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第43号 平成29年度熊本県中小企業振興資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第44号 平成29年度熊本県母子父子寡婦福祉資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第45号 平成29年度熊本県収入証紙特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第46号 平成29年度熊本県立高等学校実習資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第47号 平成29年度熊本県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第48号 平成29年度熊本県臨海工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第49号 平成29年度熊本県用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第50号 平成29年度熊本県育英資金等貸与特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第51号 平成29年度熊本県林業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第52号 平成29年度熊本県沿岸漁業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定

について

議案第53号 平成29年度熊本県市町村振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第54号 平成29年度熊本県流域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第55号 平成29年度熊本県高度技術研究開発基盤整備事業等特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第56号 平成29年度熊本県のチッソ株式会社に対する貸付けに係る県債償還等特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第57号 平成29年度熊本県公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第58号 平成29年度熊本県病院事業会計決算の認定について

議案第59号 平成29年度熊本県電気事業会計決算の認定について

議案第60号 平成29年度熊本県工業用水道事業会計決算の認定について

議案第61号 平成29年度熊本県有料駐車場事業会計利益の処分及び決算の認定について

- 2 決算特別委員長報告について

出席委員(11人)

委員長 小早川 宗 弘

副委員長 高 野 洋 介

委 員 岩 下 栄 一

委 員 鎌 田 聡

委 員 井 手 順 雄

委 員 溝 口 幸 治

委 員 西 聖 一

委 員 高 木 健 次

委 員 緒 方 勇 二

委 員 河 津 修 司

委員 松村 秀逸

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

知事公室

公室長 坂本 浩

秘書グループ課長 府高 隆

総務部

部長 池田 敬之

人事課長 小原 雅之

財政課長 下山 薫

企画振興部

部長 山川 清徳

首席審議員兼企画課長 内田 清之

健康福祉部

部長 古閑 陽一

首席審議員兼

健康福祉政策課長 沼川 敦彦

環境生活部

部長 田中 義人

環境政策課長 横尾 徹也

商工観光労働部

部長 磯田 淳

総括審議員兼

政策審議監兼

商工政策課長 中川 誠

国際スポーツ大会推進部

部長 小原 雅晶

政策審議監兼

国際スポーツ

大会推進課長 寺野 慎吾

農林水産部

部長 福島 誠治

農林水産政策課長 千田 真寿

土木部

部長 宮部 静夫

首席審議員兼監理課長 藤本 正浩

出納局

会計管理者兼出納局長 能登 哲也

企業局

局長 原 悟

総務経営課長 西浦 一義

病院局

病院事業管理者 三角 浩一

総務経営課長 緒方 克治

教育委員会

教育長 宮尾 千加子

教育政策課長 江藤 公俊

警察本部

本部長 小山 巖

参事官兼会計課長 平良 俊司

人事委員会事務局

局長 田中 信行

首席審議員兼総務課長 井上 知行

労働委員会事務局

局長 松岡 大智

審査調整課長 中島 洋二

議会事務局

局長 吉田 勝也

次長兼総務課長 横井 淳一

出納局職員出席者

会計課長 無田 英昭

監査委員・同事務局職員出席者

監査委員 濱田 義之

局長 中山 広海

監査監 田原 英介

監査監 工藤 真裕

事務局職員出席者

議事課主幹 若杉 美穂

議事課課長補佐 篠田 仁

午前10時41分開議

○小早川宗弘委員長 それでは、時間となりましたので、ただいまから第9回決算特別委員会を開会いたします。

本日は、本委員会に付託されました各決算

関係議案の採決と閉会日に行う委員長報告について御審議をお願いいたしたいと思っております。

早速議案の採決に入りますが、企業局関係議案のうち、議案第61号については、決算認定とあわせて、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づく利益の処分について議決を求める内容となっておりますので、そのほかの議案と区分してお諮りいたします。

それではまず、議案第42号から第60号まで一括して採決したいと思います、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○小早川宗弘委員長 御異議なしと認め、一括して採決いたします。

議案第42号から第60号まで、原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○小早川宗弘委員長 御異議なしと認めます。よって、議案第42号から第60号までは、原案のとおり認定することに決定いたしました。

次に、議案第61号について採決いたします。

議案第61号について、原案のとおり可決及び認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○小早川宗弘委員長 御異議なしと認めます。よって、議案第61号は、原案のとおり可決及び認定することに決定いたしました。

次に、委員長報告についてお諮りをいたします。

ただいまから、委員長報告(案)を配付させます。

（資料配付）

○小早川宗弘委員長 まず、章立てにつきましては、前回の委員会でお諮りしたとおりでございます。

それから、「第1 審査方針」は、第2回委員会で御了承いただいた内容を記載してお

ります。

また、「第2 決算の概要」では、各会計の決算概要を簡単に記載しております。

「第3 歳入確保と予算執行」、「第4 施策推進上改善または検討を要する事項等」については、前回の委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

「第5 結論」は、本日の採決結果に沿った内容となります。

内容につきましては、担当書記から、前回の第8回委員会から変更になった部分のみを説明することによってよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○小早川宗弘委員長 それでは、担当書記のほうから変更した部分のみ説明をしてください。

○若杉議事課主幹 変更部分の説明をさせていただきます。

変更箇所は1カ所になります。15ページをあけてください。

土木部、11の部分の5行目でアンダーラインを入れておりますが、漁業協同組合の前に「関係する」という文言を入れております。

土木部の全文を読ませていただきます。

【土木部】

11 河川及び港湾関係事業の繰越理由の多くが、地元漁協など関係機関との調整に不測の日数を要したためということであるが、工事に係る協賛金の取り扱いについて農林水産部と連携して取り組むなど、関係する漁業協同組合、請負業者及び発注者間の良好な関係づくりに努め、事業の円滑化を図ること。

以上です。

○小早川宗弘委員長 以上のように変更しましたので、委員長報告は、この案のとおりで行うこととしてよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○小早川宗弘委員長 御異議なしと認めます。

それでは、そのように取り計らいます。

なお、軽微な字句の修正がある場合は、私に一任していただいてよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○小早川宗弘委員長 それでは、そのように取り計らいます。

これで本委員会の審議は全て終了いたしました。

ここで、執行部を代表して、能登会計管理者に御挨拶をお願いします。

○能登会計管理者 おはようございます。会計管理者の能登でございます。

執行部を代表いたしまして、私のほうから一言お礼を申し上げさせていただきます。

平成29年度決算の認定につきましては、県議会9月定例会に議案を提出申し上げて以来、本委員会におきまして、小早川委員長、高野副委員長を初め、委員の皆様方に熱心な御審議をいただきました。

9回にわたる御審議の上、本日、一般会計、特別会計及び企業局と病院局の企業会計の決算等につきまして、可決及び認定との御決定をいただきました。まことにありがとうございました。

委員長報告の歳入確保と予算執行では、収入未済の解消につきまして、貴重な自主財源の確保と県民負担の公平、公正の観点から、費用対効果を踏まえ、効率的な徴収の促進に取り組むようにとの御指摘をいただきました。

また、予算の執行について、限られた財源をより効果的に活用するためにも、現場の状況を的確に把握し、さらに工夫を重ねるようにとの御指摘をいただきました。

さらに、施策推進上改善または検討を要する事項等におきましては、共通事項として2項目、各部局別には12項目の計14項目につき

まして御指摘をいただいたところでございます。

私ども執行部といたしましては、これらの御指摘、さらには各部局の審議の過程で御指導をいただきました事項に十分留意いたしまして、適切な予算の執行を図り、効率的、効果的な行財政運営に努めてまいり所存でございます。

委員の皆様方におかれましては、今後ともよろしく御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

まことにありがとうございました。

○小早川宗弘委員長 ありがとうございます。

それでは、閉会に当たり、私から御挨拶を申し上げます。

本日まで、9回にわたり決算特別委員会を開催してまいりました。委員の皆様には、本当に熱心に御審議をいただき、また、執行部の皆様方におかれましては、丁寧な説明で審議に御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

先ほどの委員長報告でも触れておりますけれども、県財政は、これまでの財政健全化の取り組みにより着実な成果は見られるものの、今後の景気の動向や地方財政をめぐる状況の変化などによって、厳しい財政運営を強いられるおそれもあります。

このような中、平成29年度の各会計の決算状況を審査し、各委員から多くの発言がございました。

収入未済の解消や経費の削減に努めることはもとより、議決された予算については、目的とする事業効果の発現に向けてしっかりと執行することや、あるいは事業のより一層の充実を求めるものも多く出されております。

執行部におかれましては、委員長報告に取り上げなかった意見も含めて検討をお願いす

るとともに、限られた人員で大変な中ではありますが、熊本復旧・復興4カ年戦略に基づく各施策、各事業を着実に進めていかれますようお願いをいたします。

最後になりますが、御協力いただきました委員の皆様、そして執行部の方々、それから私をしっかりと補佐していただきました高野副委員長に対し、心から感謝を申し上げ、閉会に当たっての御挨拶といたします。

皆さん本当にありがとうございました。お世話になりました。

これをもって第9回決算特別委員会を閉会いたします。

皆さん本当にお疲れさまでございました。ありがとうございました。

午前10時52分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定により
ここに署名する

決算特別委員会委員長